

渋川市議会議長  
安カ川信之様

研修報告

令和6年3月29日  
福島丘泰

新人議員研修 議員活動新人研修1・2  
講師 川本達志氏 地方議員研究会

～議員活動新人研修1～

- ・1期目に絶対注意してほしいこと
- ・セミナーで一番多い質問
- ・職員から見た議員の見え方
- ・先輩議員に教えてもらおうとダメになる例
- ・基礎知識としての財政のポイント

～議員活動新人研修2～

- ・役所の仕組みと予算のスケジュール
- ・議会と議員が出来ることと出来ないこと
- ・質疑や質問の組み立て方
- ・先進事例を自分の町で質問する問題点
- ・役所を動かす質問の仕方

セミナー受講後の所感

セミナーから、新人議員としてやってほしいことや注意すべきことなどを聞く。

議員として誇りをもって活動しなければいけないと先生は何度もおっしゃった。

議員は地域住民の声で成り立っていて、選挙が終わり選ばれた次々日から議員として、地域住民の代表として責任をもって活動していかなければならないから。

活動は、日々、問題解決につながる課題意識をもって行動すること。

それには、執行部との連絡を密にとり、より良い政策を進めていくよう努め、一般質問は年間を通して流れを組み立て、休会中には地域住民の声を聴きまわり、質の高い質問となるよう取り組まなければならない。

今後、セミナーで学んだことを実践し、地域住民の付託に応えられるよう取り組み、今後の議員活動に活かしていきたい。

渋川市議会議長  
安力川信之様

研修報告

令和6年3月29日  
福島丘泰

議員活動のすべて！

講師 宮本正一氏 日本公共経営研究所

～理想の地方議員になるために必要なこと～

これからの地方議員は、「地方議会本来の機能」を理解し、「市民との関係」を再構築することが求められる。

「地方議会の本来の機能」

首長・議会共に直接公選する二元代表制。つまり、議会は対等の代表機関であるから、住民意思の反映を感じられない議案については、首長と腹を据えて議論するべきであり、求められている地域住民の声をどちらが的確に反映しているかを首長と競い合う

「市民との関係」

地方議員は、特定の地域・個別団体の利害のためにのみ活動する政治家であってはならない。

次の3つを同時に実現して、地域社会を成熟させる指導者になるべきである

- ① 新しい住民ニーズへの対応
- ② 地域社会が抱える問題の明確化
- ③ その問題解決に向かうプロセスの可視化

実現のための政治活動として、①の対策として、議会レポートの作成配布、②の対策として、街頭演説など自身の意見を広く住民に訴える、③の対策として、住民から直接意見を聴取する市政報告会などを行い、適正な政務活動により議会内外から情報を収集して、首長に対しては批判・追求だけでなく、実現可能な政策提言（議員提案条例、議員提出議案等）をしなければならない。

～質問づくりのための疑問のすべてに答えます～

質問づくりの準備と技法①として、インターネットやポータルサイトで国・都道府県等にアクセス、②として、公人として直接担当者に電話、③として、マスコミや関係団体と懇話会、④として、議会レポートや街頭演説、市政報告会等を通じて、直接住民・関係者から情報を入手して、質問づくりに活かしていく。